

午後 7 時 0 0 分開会

第 4 回 トップアスリートのまち・北区推進協議会

令和 6 年 7 月 1 1 日

【齊藤座長】

それでは少し時間前ですが、始めたいと思います。皆さんこんばんは。ただいまから第 4 回 トップアスリートのまち北区推進協議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。この協議会の座長を務めます、東洋大の齊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに会議の進行について説明をさせていただきます。本日の会議につきましては、議事録作成のための音声を録音させていただきます。発言の際には事務局がマイクをお持ちいたしますので、ご使用願います。また、会議の活動記録作成のため、会議風景写真を撮影させていただきます。なお、この会議は公開での開催となりますので、傍聴希望される方が会場に入るとともに、議事録を北区ホームページにて公開いたします。あらかじめご了承くださいというふうに存じます。

それでは、次に本日の資料について事務局の方から確認をお願いいたします。

【事務局】

それでは事務局から資料の確認をさせていただきます。次第に続き、構成員名簿、3 ページ目が席次でございます。4 ページ以降が資料 1 から 2、10 ページ以降が各団体のチラシとなっております。当日配付のチラシは資料の最後に付けさせていただきました。続きまして 24 ページから北区スポーツ推進計画の関連資料がございます。また、来年、東京で開催されるデフリンピックのピンバッチを机上配付しております。前回も配布しておりますが、新しく委員になられた方もいらっしゃると思いますので改めてお配りしました。資料の確認は以上になります。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございました。

それでは議題に入る前に、私の方から改めて一言ご挨拶を申し上げたいと思います。改めて東洋大の齊藤でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

7 月に入って暑い日が続いておりますが、今日ちょっと涼しいようですけど、いよいよ 26 日からオリンピック・パリが始まると思います。競技自体は確か 24 日からサッカーとラグビーが始まりますが、北区ゆかりのアスリートも出ます

し、その中で、手前みそですが、私ども学部の竹原がですね、200m背泳ぎに出ますので、ぜひ、メダルを取って欲しいなと思っております。今ちょうど彼はスペインの方におりまして、標高3,000メートルのところで、高地トレーニングを一所懸命やっていますが、聞くところによると、高地トレーニングをやる
と驚くほどの記録が出ると聞いておりますので、多分メダルを取ってくれると思います。

ちょっと余談はさておき進行していきたいと思います。

ではまず、人事異動などに伴い新たに委員となられた皆様から、一言ずつお願いいたします。

【矢壁委員】

矢壁と申します。よろしくお願いいたします。

【遠藤委員】

北区文化振興財団事務局長の遠藤ひでみでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【桂委員】

はい、桂でございます。よろしくお願いいたします。

【益川委員】

北区青少年委員会の益川です。よろしくお願いいたします。

【雲出委員】

北区地域振興部長の雲出と申します。よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

続いて、北区教育振興部長倉林様。本日は欠席と聞いています。

今回は、北区スポーツ大使である宇山様にもご同席いただいております。

【宇山委員】

よろしくどうぞお願いいたします。

【齊藤座長】

また、オブザーバーとして数名来ていただいております。

【石井オブザーバー】

東京商工会議所北支部、石井です、よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

総合型地域スポーツクラブのコミスポたきのがわ、玉瀬様はまだ来られていないようです。

【関本オブザーバー】

東京ヴェルディ株式会社、関本です。よろしくお願いいたします。

【常田オブザーバー】

城北信用金庫の常田です。どうぞよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

以上の方々にご出席いただいております。よろしくどうぞお願いいたします。
さて、それでは新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様から一言ずつですね、ご挨拶を頂戴しようと思います。副座長の、北区町会自治会連合会の長谷川委員様から順にですね、事務局も含めて、反時計周りをお願いしたいと思います。

【長谷川副座長】

着座で失礼します。東十条5丁目町会長の長谷川です。そして王子地区の町会連合会の会長をしております。以上です。

【宇山委員】

皆様はじめまして。フェンシングという競技をやっておりました。また東京オリンピックで金メダルを獲得させていただきました。スポーツ大使を拝命しております宇山と申します。よろしくお願いいたします。

今、現役選手を引退して、スポーツを外からですね、社会人大学院に通いながら、スポーツの価値、それから次世代につなげていくにはどうすればいいかということ勉強しながら、活動しております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

【平田委員】

いつもお世話になっております。北区立小学校PTA連合会会長、平田賢と申します。王子小学校PTA会長やっております。どうぞよろしくお願いいたします。

【桂委員】

北区立中学校PTA連合会、桂と申します。滝野川地区で、今度の27日に地区別研修会ということで、モルックとか、子どもたちを呼んでやる予定です。もし興味ある方いたら、よろしくお願いいたします。

【鈴木委員】

北区青少年地区委員会会長を務めておりますが、北区軟式野球連盟会長でもあります鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

【益川委員】

前任の恒松より引き継ぎまして、北区青少年委員会の会長をさせていただいております、益川です。よろしくお願いいたします。

【藤野委員】

北区の政策経営部長をしております藤野と申します。私、以前、東京2020大会のときは、地域振興部長として、まさしくこのオリンピック・パラリンピックの大会に関わらせていただいたところでございますけれども、その精神を受け継いで、この協議会がスタートしているというふうに考えてございますので、トップアスリートのまち・北区をさらに、内外に広げていくために、いろいろな取り組みを進めていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【中嶋委員】

北区のしごと連携担当室長の中嶋と申します。先週、新紙幣発行がございましたが、渋沢のカウントダウンプロジェクトに取り組んだり、またそういったことを踏まえて今、公民連携の、北区の仕組みづくりをこれから力を入れていこうと思っております。そうした部分に関してはこういった取り組みも、非常に公民で取り組む大事な部分だと思っておりますので、できるだけ尽力をしてまいりたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

【雲出委員】

初めまして皆さんこんにちは。今年の4月に地域振興部長を拝命いたしました、雲出直子と申します。よろしくお願いいたします。このスポーツのすばらしさ、楽しさを知っていただけるよう、この協議会の皆様に伺いながら尽力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【守谷委員】

皆さんこんばんは。北区中学校体育会を代表してまいりました十条富士見中学校校長の守谷暢明です。どうぞよろしくお願いいたします。

【中村順子委員】

北区小学校の体育会を代表してまいりました。北区立豊川小学校校長の中村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【遠藤委員】

改めまして北区文化振興財団の遠藤でございます。事務室はこの北とぴあ10階にございまして、北とぴあでのホール事業、それから豊島5丁目団地のココキタ、それから田端文士村記念館、またホール等文化事業に取り組んでいる団体になってございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【大前委員代理・森様】

東京北区観光協会会長の大前の代理で、今日まいりました森と申します。どんどん北区のことをPRしていく部署となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

【太田委員】

皆様、こんばんは。日テレ・東京ヴェルディベレーザで女子事業の責任者をしております太田と申します。日頃より皆さんのあたたかい声援とご支援、本当にありがとうございます。引き続き今シーズンもいよいよ始まりますので、応援のほどよろしくお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。

【葛西委員】

こんばんは。北区スポーツ推進委員協議会の葛西と申します。私たちがターゲットにしている方たちは普段スポーツをしていらっしゃる方をスポーツの現場に、どうやったら出てきてくれるのかなっていうことを日々考えております。そういった中で、北区のトップアスリートのまち北区という標榜している部分をもっと価値あるものに、高めていきたいというところは、思いは一緒でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【大竹委員代理・仲本様】

こんばんは。総合型地域スポーツクラブ、コムスポたきのがわ副理事長しております、仲本と申します。本日、理事長の大竹が所用で欠席となりまして、代理出

席させていただいております。総合型スポーツクラブという形で、幾つものプログラムを持って、働く世代から子どもまで、絶対的なスポーツの楽しさを伝えていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【田草川委員】

皆様、こんばんは。北区体育協会の専務理事を仰せつかっております田草川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。北区体育協会は33の連盟からなる、またスポーツ少年団を育成団体として持っている団体ですけれども、役職の改選がございまして、ここにいらっしゃいます座長の齊藤先生には理事になっていただきまして本当にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。その他にはですね副会長2名、そして専務理事と常務理事が1名、そして評議員が1名という形で体育協会の関係者の方が大分いらっしゃいます。私、何も言わなくてもいいのかなと思っておりますけれども、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【矢壁委員】

皆様、こんばんは。私、東京都障害者総合スポーツセンターからまいりました矢壁彩と申します。前任の高山より引き継がせていただきまして、今回から出席をさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。私自身、地域スポーツ振興係長ということで今年から任命されまして所属しております。ですので、まだまだ未熟な部分がございますが、どうぞ皆様からお勉強をさせていただきながら、より良い協議会とさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【中村勝尚委員】

皆様こんばんは。日本スポーツ振興センター、ハイパフォーマンススポーツセンター運営部長の中村と申します。西が丘にございます、国立スポーツ科学センター、それからナショナルトレーニングセンター、それから、味の素フィールド西が丘、こういった施設の管理運営を行ってございます。皆様におかれましては日頃よりですね、我々の事業に対して、ご理解ご協力いただいていること、改めて感謝を申し上げたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【越野委員】

東京商工会議所北支部会長を務めております越野でございます。この協議会は、東京オリンピックを盛り上げようという、そこからスタートです。これがしっか

りと続いて、地域を盛り上げる、スポーツを通じて地域を盛り上げるということが、やはり発展していること本当に喜ばしく思います。ハイパフォーマンスセンター、そして東洋大学さん、それから最高峰の女子サッカーリーグ、こんなにスポーツのリソースがある地域っていうのは無いんじゃないかと、今改めて伺って感じました。皆様と一緒にしっかりとしたまちづくりにつなげていきたいと
思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【成川委員】

私、北区商店街連合会の会長をしております成川でございます。よろしくお願いいたします。私はスポーツにはあんまり縁がないものですから、去年初めてこの会議に出させていただきまして、こんなことやってんだってのも初めて知ったわけでございます。今年は2年目、商店街としても何かやったときには協力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【谷塚委員】

東洋大学の谷塚と申します。専門はスポーツビジネス・スポーツマネジメントをということになります。これからいろいろとスポーツで、北区を盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

ありがとうございました。

それでは、アジェンダに従って進めていきたいと思います。次は3番になりますが、協議事項に入ります。パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業についてということで、こちらの方は事務局からご説明いたします。

【事務局】

私、事務局のスポーツ推進課長、滝澤と申します。4月に拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。4ページの資料1をご覧ください。パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業についてでございます。1の要旨です。令和6年7月から9月にかけて、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。パリ大会に出場する北区スポーツ大使、ゆかりのアスリートと連携した事業を展開することでトップアスリートのまち・北区の推進や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承発展を図ってまいります。
続いて2の日程です。パリ大会の日程はお示しの日程での開催となります。
続いて3、北区スポーツ大使・ゆかりのアスリートのパリオリンピック・パリ

ンピック出場予定選手はお示しの顔ぶれで、合計 8 名でございます。なお、東洋大学の選手の皆様につきましては 7 ページをご覧ください。お示しの顔ぶれで、在学生 6 名、卒業生 10 名で合計、16 名でございます。

続きまして、5 ページをご覧ください。4 関連事業の案でございます。

(1) 周知及び応援につきましては、パリ大会に出場予定のスポーツ大使、ゆかりのアスリートの周知を行い、区民に対して知名度を高め、応援機運の醸成につなげてまいります。①の応援メッセージの募集でございます。(ア) 北区ニュースの方ですが、7 月 1 日号となります。またホームページ等を通じまして、区民の方からですね、出場予定のアスリートへの応援メッセージの募集をたいていしております。次に(イ)でございます。区内の学校出身の出場予定、アスリートに対しまして、在校生から応援メッセージを作成するものです。

なお、いただいた応援メッセージは、区のホームページに掲載、またはアスリートへ届ける予定でございます。②の懸垂幕の掲出についてです。区役所の第 2 庁舎に 7 月 16 日からなんですけれども、パリ大会出場予定を周知する懸垂幕を、オリンピックとパラリンピックで期間を分けて掲出をしていく予定です。

(2) です、パブリックビューイングの実施でございます。スポーツ大使、ゆかりのアスリートが出場する試合のパブリックビューイングを実施し、区全体で活躍を応援し、大会を盛り上げていく予定です。なお、パリと日本の時差の関係上、パブリックビューイングができる競技に限られるという状況でございます。現在、実施競技なども含めまして調整中です。実施場所につきましては赤羽体育館等を予定しております。また、実施申請手続きやガイドラインについては、日本オリンピック委員会へ問い合わせ中でございます。

(3) の報告会についてでございます。パリ大会に出場したスポーツ大使、ゆかりのアスリートと区民の交流を交えた大会報告会を実施する予定でございます。日程や場所、詳細は今後調整していく予定です。現時点では、9 月 27 日から 29 日に赤羽体育館で開催されます、全日本パラ卓球選手権大会の実施等に合わせてですね、パラリンピック卓球の報告会を開催する方向で調整をしているところでございます。

続きまして、6 ページをご覧ください。

(4) その他でございます。①パラリンピック水泳に出場予定の田中映伍選手(東洋大所属)と、赤羽幼稚園・赤羽こども園が日本パラ水泳連盟と東洋大学の連携協定締結に伴いまして、連携園としてですね、交流事業を行いました。

(ア) です。園での交流活動としましては、6 月 24 日に赤羽幼稚園・赤羽こども園に行って、お示しの内容などを実施しました。(イ) です。北区立元気ぷらぎプールでの交流活動ですが、7 月 3 日に元気ぷらぎにて、選手によるデモンストラクション、また園児との触れ合い等を実施しました。また、パリパラリンピ

ック終了後に、交流会等を予定しているとのことでお伺いしております。

②です。車いすフェンシング競技の日本一を決定する2024年第2回全日本車いすフェンシング選手権大会の実施についてです。7月28日、赤羽体育館にて日本パラフェンシング協会が実施する予定です。雑駁ではございますが、私からの説明は以上でございます。

【齊藤座長】

はい、ありがとうございました。

本件は協議事項ですので様々なご意見を頂きたい思います。

よろしいですか。では、私から。追加の情報ということでもないのですが、先ほど紹介あった6ページのパラリンピックの水泳ですね、本学、田中映伍選手が出ます。この学生は、健康スポーツ科学部ではなくて、福祉社会デザイン学部で、両腕が無い、そういう障害を持っている学生ですけれども、器用に水泳をされますので、先日、赤羽幼稚園・赤羽こども園と交流があったんですが、私、実際見なかったんですけど後から報告を受けましたが、腕のない人がプールで泳げるってというのはですね、かなりやっぱり子どもたちにインパクト、驚きだったようで、高評価をいただいております。少し情報としてお伝えしました。あといかがでしょうか。

【常田オブザーバー】

すいません、城北信用金庫の常田です。

先ほどのご説明の中でですね、4関連事業の中で(2)のパブリックビューイングの実施があったかと思うんですけども、実施場所の赤羽体育館、昨年ですかね、女子ワールドカップの試合のパブリックビューイングが同会場で行われたんですけども、非常にですね、モニターの位置がちょっと低くてですね、座席を並べて、人が座ってしまうとですね、頭で試合が見えなくなってしまうという状況がありましたので、そこを何とか改善ができればよろしいかなというふうに感じました。一応共有させていただきます。

【齊藤座長】

事務局いかがですか。工夫はできそうですか。

【事務局】

モニターの方なんですけど、壁に設置されて、埋め込まれておりまして、高さを調整するのは難しいため、座る位置の調整で見えやすくしていきたいと思っております。

【齊藤座長】

他いかがですか。よろしいですか。はい、ではこの件に関する協議が終了したということにしたいと思います。続きまして、次第4の報告事項にまいります。事業報告についてということで、こちら事務局の方からお願いいたします。

【事務局】

それでは8ページ、資料2をご覧ください。

令和5年度から6年度の事業報告についてご説明を順次させていただきます。

1の要旨です。第3回トップアスリートのまち・北区推進協議会を令和6年2月に実施いたしました。その後の主な事業を報告させていただきます。

2の事業報告でございます。(1)日テレ・東京ヴェルディベレーザとの連携事業でございます。日程につきましては3月16日の土曜日でございます。

場所は味の素フィールド西が丘で、内容といたしましては、北区が進めます「渋谷 × 北区新一万円札発行100日前フェスティバル」にてですね、こちらの関連イベントとして、区内在住・在勤・在学の方がですね、ホームゲームを特に観戦できるイベントを実施いたしました。(2)でございます。ハンガリー柔道協会の交流事業でございます。ハンガリーの柔道協会来日に伴いまして、ハンガリーの柔道コーチと交流事業を実施いたしました。①の交流会でございます。日程としましては令和6年3月23日に、場所、滝野川体育館第二武道場、講師の方2名いらっしゃいました。参加者は31名でございます。②番の中学校部活訪問ということで、令和6年3月24日ですが、赤羽岩淵中学校にいて、講師の方に来ていただきました。参加者10名で実施をしました。(3)です。卓球選手権大会を開催いたしました。「2024年アジア卓球選手権アルマトイ大会(個人戦)兼2025年世界卓球選手権ドーハ大会(個人戦)アジア大陸予選会男女日本代表選手選考会」が開催されまして、卓球日本代表クラスの選手、パリオリンピック代表を除きますが、男女各20名が参加し、区民観戦事業を実施いたしました。抽選に当選した方々に観戦いただきました。続きまして9ページをご覧ください。日程としては6月20日に予選リーグを実施し観戦者が67名、21日の準決勝、決勝の方は44名が観戦にいらっしゃいました。赤羽体育館にて実施いたしました。次に(4)です。東洋大学健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科との連携事業でございます。幅広い世代を対象にですね、トップアスリートのまち・北区を区内外で発信し、スポーツによる健康づくりを推進していくため、東洋大学健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科の学生と一緒にですね、スポーツに関する様々な企画や事業を行っております。①です。「スポGOMI in 東洋大学」の開催です。令和6年4月13日、東洋大学赤羽台キャンパスの周辺で

すね、令和6年度新入生歓迎行事といたしまして、「スポ GOMI in 東洋大学」が開催されました。スポ GOMI はごみ拾いとスポーツを組み合わせた日本発祥の新しいスポーツイベントのことです。参加した新入生354人は赤羽台キャンパスを中心とし、周辺約3kmを歩き、総重量133kgのごみを回収しました。②です。「HELSP0で楽しもう！親子でエンジョイスports」の開催についてです。令和6年6月23日、東洋大学赤羽台キャンパスのHELSP0 HUB-3 多目的室1で、「HELSP0で楽しもう！親子でエンジョイスports」が開催されました。令和4年に開設したHELSP0アリーナを会場といたしまして、親子が楽しめるスポーツを通じた健康づくりが企画され、北区ニュースにおいてですね、参加者を募集し、数十名の参加がございました。もしよろしければですね、齊藤座長にですね、東洋大学の連携事業についてご報告いただけましたらと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

手前みその話だけでしょうか。スポ GOMI のご案内がありましたが、あまり耳慣れない種目だと思うんですが、実はこれワールドカップも行われておりまして、そういう競技になります。今年度の新入生歓迎行事として試しにやってみたというところなんですけど、結構盛り上がるというか、簡単に言うとごみを集めるんですけども、たばこの吸い殻が1本何点とか、そういうごみの種別ごとに、ポイント制にしてそのポイントを競って楽しむっていう、そういうスポーツです。総重量133kgと記載されてますけども、実はポイントになるごみが133kg。ポイントにならないごみを合わせると350kg ぐらいのごみを集めたということですので。北区の方でもこれやられてるんですね、他の部署で。

【事務局】

これから実施する予定です。

【齊藤座長】

これからですか。そうですか。

こういった取り組みがあってもいいかなというふうに感じております。さて、報告の方はこれで終了しましたが、いかがでしょうか。皆さんから質問その他ございますでしょうか。

【越野委員】

今の、スポ GOMI のこれからの話をちょっと聞かせてください。北区の。

【事務局】

環境課の方で、同じような趣旨のイベントを計画してるというところを聞いてるんですけど、まだ具体的に公表とかは、これからだと思います。詳細がわかりましたら、またメール等で、委員の皆様にお知らせさせていただきます。

【越野委員】

今日、中嶋しごと連携室長が見えてるんだけど、これやっぱり一緒に連携して、環境課がやっててそれを何か聞いて発信するとかじゃなくて、やっぱり、スボGOMI なんだから、一緒にこうやっていくっていうか、主管はね、あちらでいいと思うんですけど、どういうふうに募集するのとか、少なくとも先行して、ここにいる皆さんは、例えばその参加者を募集するとか言ったときに、応募しやすい形にするとかね。毎回、僕申し上げてるし、皆さんからも意見が出るんだけど、やったことの3ヶ月も4ヶ月も前の報告だけをされても、協議会の意味合いが非常に薄くなっちゃうから。やっぱり先を見て、別にまだ非公開でやってくださいとか、エキスキューズをつけていただいて結構なんで、ぜひそういうふうにしていただくと、すごくいいなというふうに思うんですよ。この東洋大学さんがおやりになられてることを、載せさせていただくのはいいと思いますけど、例えば、来年の何月かには、東洋大学さんとしてまた第2回もやるよっていうふうになったとしたら、何か要するに、地域として関わりを持たせていただくことができるんだろうか、とか。成川委員、さっきスポーツ得意じゃないっていうふうにおっしゃってていましたが、これならできますよね。だから、ちょっと先取り先取りしながらぜひ情報を出していただきたいなというふうに思います。先ほどの東洋大学のパラリンピック出場選手の話は今スマホで見ましたけれども、朝日新聞のデジタルとか、それから北区からもちゃんと発信をされてるんだけど、でもやっぱり知らないんですよ。だからもっとやっぱり広がりを持てるような発信の仕方っていうのを考えてもらいたいし、逆に事前に知らせておいてくれば、注目して見るみたいなのところもあると思うので。ぜひやったことをプレスリリースかけて広報が終わりっていうんじゃないくて、やっぱりその辺の流れを作っていくっていうのをさせていただきたいと思います。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。委員のおっしゃるとおり、今、事後報告になってるような形です。せっかくお忙しい中、お集まりいただいている委員の方ですね、私どものスポーツ事業を発信するだけでなく庁内の連携を進めてですね、もっと広がりができるような活性化するような情報発信ができるよう、早速、環境課の方に相談してですね、色々な情報が発信できるよう考えてまいりた

と思います。またですね情報発信としては、区長の記者会見っていうのが、今のやまだ区長になってから始まりまして、そこに各課が記者会見の記事にさせていただくことで、発信力が高まっています。実はそういうところも活用はしたりしていますが、それとあわせてですね、いただいた意見を参考にですね、考えてまいりたいと思います。ありがとうございます。

【成川委員】

北区商店街連合会の成川でございます。今、齊藤座長のお話を聞きまして、越野委員もそうなんですけども、このスポ GOMI、いいですね。これイベントを商店街でもやれるかな。小さいお子さんとか集めて内容ができればね。これ結構イベントになるんじゃないかなというふうに言おうと思ったところに、越野委員に先に言われてしまったものですから、ちょっと出鼻をくじかれたっていう感じなんですけども。是非とも教えていただきまして、商店街連合会とも連携をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

皆さん、本当にまちが綺麗になるんですよ。

【常田オブザーバー】

すいません、たびたび城北信用金庫の常田です。先ほどのスポ GOMI の活動ですけれども、地域の事業者さんもですね、本当に関心を持って、積極的に取り組んでおられる事業者もいらっしゃるようですので、具体的にはフィットネスクラブのティップネスさん、あと、こちらに今日いらっしゃってます東京ヴェルディベレーザさんが一緒に取り組んでですね、地域の清掃活動をしたと、そういった事例もありますので、やはりこの情報というのは、一部だけではなく、この企業体というんでしょうかね、各事業者の方とも、共有しながら、城北信用金庫、実は私どもも城北アスリートクラブという組織もありますし、我々も非常に関心を持っております。ですので、オール北区という観点でですね、ぜひ情報をいただければ、その中からこう集ってそれでみんなで参加すると、まちを綺麗にするという活動ができるかなというふうに思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。以上です。

【齊藤座長】

このときは350kgのゴミが集まってですね。皆さん350kgのゴミってご覧になったことありますか。見ると壮観ですね。すごい量なんです。東洋大学の学生は、学内キャンパスが禁煙なものですから、たばこ吸う学生もおりまして、キ

キャンパスから出た瞬間にたばこ吸う学生がいるんですね。どうしてもそこに捨ててしまう。そういう学生がいるから、いつもお叱りを受けるんですけど。今回は逆に学生が拾ってですね、綺麗にしたということで、地域からご評価いただきました。本当にいい取り組みだなと感じました。ぜひ皆さんと一緒に取り組んでいければいいかなと思っております。他いかがでしょうか。

では、4番の報告事項についてはこれで終了したいと思います。

続いて、各団体機関からの報告ということになっております。チラシも複数枚、添付されています。

【平田委員】

着座にて失礼いたします。小学校PTA連合会平田です。この推進協議会は情報共有がメインということだと思うのですが、以前この協議会で、日本オリンピックズ協会さんのオリンピック巡回指導事業という情報をいただいたかと思ひまして、それで今年度、王子小学校で何かできないかというふうに思ひしていました。ただ、学校事業は年間で決まっていますから、なかなか学校側の方に差し込むというのは難しいです。私、PTA会長4年目なんですけど、何となく察するようになりまして、わくわく王子ひろばさんの方に学童、高学年は放課後わくわくクラブというそういった事業があるんですけども、それを委託で、マミー・インターナショナルという会社さんがなさっていて、そちらと一緒にやりませんかということで、ご提案を1月くらいにさせていただいて、この中でご存じの方も何名かいらっしゃると思うんですけど、私、もともと俳優やっております、映画のウォーターボーイズとか出ております、シンクロのパフォーマンスを20代の頃、色々やりました。今、アーティスティックスイミングの小谷実可子さんがオリンピックズ協会の会長をなさっています。小谷さんの知り合いを知ってたりもするので、来てくれたら楽しいんじゃないかなと思ひまして、申請させていただきました。8月28日、王子小学校のプールで、一応、主催は、わくわく王子ひろばさんの方でやっていただくと、あと王子小学校、という形で進めております。また前後しちゃうんですけど、今年の1、2月にヴェルディさんの方にも、ベレーザの選手2名に来ていただきまして、わくわく王子ひろばさんの方で対応していただきまして、子どもとの交流をしていただきました。先ほどの越野委員からも出ましたが、実は私も駅前で飲食店やっています。商工会議所さん、城北信用金庫さんもヴェルディさんも個人的な繋がりがある中で、PTA会長になってそれを知ったからいろいろと組み合わせてできてる部分も実はあるんですけども、例えば今年PTA会長1年目になられた方は、なかなかどうしていいだろうかわかんないところもあるので、その先ほど、しごと連携室の話も出ましたが、学校もうまく巻き込んでいただきながら、例えばこのスポ GOMI

に関しても学校対抗とか。でもそれは大変かもしれないですよ、先生方ね。例えば、学校だけでもいいけど、例えば何かのタイミングでやるとか、そういったことをいろいろ考えられるかと思いますので、PTAもどんどん、保護者は前向きに。インターネットでは、PTA体制、ネガティブなニュースばかりですけども、活動してる我々は前向きに活動しておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

【大竹委員代理・仲本様】

コミスポたきのがわの仲本です。ありがとうございます。

コミスポたきのがわを始めまして約6年ぐらいたつんですけども、今年ノルディックウォーキングの体験会、あとバスケット3x3という2種類の種目を出すことができまして、現在7つの種目を運営させていただいてございます。

会員数が400届くか届かないかぐらいにはなっているんですが、夜のプログラムがどうしても多いというのは、我々運営サイドが、まだサラリーマンであったりとか、昼間はなかなか会場が空かないんですね。いわゆる、ここで書いてある体育館はほとんどが学校の体育館をお借りしているという形で、特定の体育館、施設を持たない団体ですので、どうしても夜、という活動が多い。そこが今、我々としてはネックとなっているというところですね。ですからどうしても、時間に余裕のある日中に運動したい、という人に対応できてないのが我々の今、課題かなあと考えてございます。その中でノルディックウォーキングをとりあえず昼間やろうか、という形をとったりとか、今、やっと始まったところかなあというところなんです。少しでも多くの方にですね、体を動かす楽しさをお伝えできればなあと考えてございます。それであと、これ以外にイベントというのをやっております。コミスポフェスというイベントですとか、あと女性のフットサルイベントを開催しております。この8月3日の土曜日ですね、滝野川体育館を借りまして、女性フットサル大会というのをさせていただくことになってございます。もしご興味ある方はどうぞご覧ください。よろしくお願いします。

【越野委員】

ビジネスプランコンテスト学生版、それから渋谷フェスタ、それから後から配らせていただいた、渋谷栄一新一万円札発行記念 EMIKO VOICE candlenight JAZZ LIVE、そして見晴らす丘の紳士という演劇のご案内です。スポーツと何にも関わりのないというふうに思われるかもしれませんが、実は渋谷栄一さんとスポーツってのはなかなか関係がありましてですね、明治34年に実は飛鳥山の渋谷邸で日本女子バスケットボールの初めての試合が行われたと。日本女子大の運動会が開かれて、そこで行われた試合が、日本初の女子バスケットボールの試合

だったっていうのが、実はあったりとか。それから飛鳥山ではですね、しばしば嘉納治五郎先生が柔道のいろんなお披露目というか、そういうのをされたということですね。渋沢栄一翁そのものがスポーツをされたという記録はあまりないんですけれども、実は渋沢栄一翁も非常にスポーツに関わりが深いということですので、渋沢栄一繋がり、今回のご案内と、いうことでございます。それぞれにご興味のあるイベントにご参加いただければと思いますし、渋沢フェスタの方では、ちっちゃく出てますがボッチャの体験というようなものもさせていただく。それから、ビジネスプランコンテスト学生版の方ではですね、東洋大学さんにもお声掛けをしておりますし、今日は学校関係の皆さん、たくさん来ていただいておりますので、ぜひですね、この日おいでになれなくても、資料から見ていただきますけますので、学生のいわゆるインキュベーション、起業の気持ちを盛り立てていくということですね、ぜひ情報共有していただければというふうに思います。スポーツはやっぱりチャレンジ精神、挑戦する心ですので、そこはビジネスの部分でも、繋がりが出るんじゃないかなと。少々無理筋でございましたけども、皆さんにお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【矢壁委員】

東京都障害者総合スポーツセンターの矢壁でございます。今回、皆様の方にお配りさせていただいたのが、委員の皆様もすでにご存じかと思うんですけども、今一度ですね、東京都障害者総合スポーツセンターを知っていただければと思ひまして、お持ちさせていただきました。お時間ある時に、お目を通していただければと思っております。簡単にお伝えさせていただきますと、障害者専用のスポーツセンターとなっております。障害のある方であればどなたでも登録して、利用ができるスポーツセンターとなっておりますので、ぜひお近くにいらっしゃいましたらお声掛けをしていただければというふうに思っております。スポーツセンターの方ではですね、たくさん教室とかイベント事もやっております。今回トップアスリートのまちの協議会ということでしたので、アスリートに関わるイベントだけ抽出してお持ちさせていただきました。アスリートの育成ということにも力を入れさせていただいております。もしご興味のある方がいらっしゃればお声掛けしていただければと思っております。裏面19ページですね、スポーツ祭というものを企画しております。こちらパリ2024パラリンピック競技大会が終わった熱気そのままにですね、開催ができればというところで、日程も9月15日というふうに設定をしております。この日はですね、障害のある人ない人もかわらず、来館をしていただくことができる日にちとなっておりますので、ぜひ小中学生の皆さまもですね、お誘いの上ですね、来ていただければというふうに思っております。各種たくさんの事業もやっております

ので、ぜひホームページもご覧になっていただいて、ご興味持っていただけるように、と思ってお持ちいたしました。なかなか私たちスポーツセンターの職員もですね、営業力がちょっと下手なものでして、なかなか存在感をアピールできてないのが、ここ最近の研究からも出てきましたので、ぜひお目を通していただいて、こういったスポーツがあるということを知っていただくというところをぜひお願いいたします。以上となります。

【齊藤座長】

皆さん、9月15日の日曜日の予定を確認していただき、ぜひ足を向けていただければと思います。

【越野委員】

ちょっと質問させていただきたいんですが、これ、申し込みをしないといけないんですか。

【矢壁委員】

スポーツ祭に関しては申し込みなしで大丈夫ですが、一部申し込み制のイベントもご用意してます。

【越野委員】

ホームページ掲載の申し込み日、必要事項を記入の上と書いてあるのは、スポーツ祭は関係ないということですね。わかりました。ぜひ、これ商工会議所の事務局の方で全会員の皆さんに知っていただくようにしたいと思います。それぞれのSNSとかそういう発信をさせていただければと思っております。

【矢壁委員】

ありがとうございます。

【太田委員】

日テレ・東京ヴェルディベレーザの太田です。
本来ならここで試合の日程をご案内させていただいて、皆さんにぜひ、試合を見に来てくださいというふうなご案内をさせていただけたらと思っていたんですが、実は本日の11時にですね、リーグ戦のスケジュールが正式に発表されたところで、本日資料の方ご準備できなかったのも、また改めてお渡しさせていただけたらと思っています。また並行して、リーグ戦とは別に、近々ですね、カップ戦のスケジュールも出ますので、また別途ご案内させていただけたらと思いま

す。ベレーザも女子の事業に力を入れて、今回3シーズン目になります。たくさんの皆様のご協力のもと、サッカーだけでなくスタジアムの賑わいのところで、様々な仕掛けをさせていただいております。皆様、もし、この中でもお越しになられたことがない方いらっしゃいましたらですね、スタジアムの方も見に来ていただけたらと思っております。パリオリンピックの方も、ベレーザに所属している藤野あおばが、パリで頑張って、日本の代表として活躍してくれると思いますので、引き続き、そちらの応援もよろしくお願いします。

【中村勝尚委員】

改めましてハイパフォーマンススポーツセンターの中村でございます。私の方から2点ほど、皆様の方に共有をさせていただければと思います。まず1点目でございますが、お手元にお配りしております。味の素ナショナルトレーニングセンターイースト見学ツアー、昨年も行ったんですけども、こども見学デーと称しまして、8月10日、11、12日、ちょうど山の日の3連休でございますね。この日にですね、お子様は無料です、ナショナルトレーニングセンターの見学コースがございます。各日3回、9時半から、13時半から、16時からでございますので合計9回行う予定でございます。昨年もおかげさまで満員御礼という形になりましたので、今年度もすでに募集は始めておりますが、まだ空きがございますので、ご興味のある方はぜひご参加いただければと思います。お子様が無料でございます、お子様1名につき引率者の方々も2名まで無料で行いますので、ぜひご参加いただければと思います。もう1点でございますが、今年スポーツの日が10月14日でございます。こちら資料がないんですけども、例年通りですね、スポーツの日中央記念行事というのを、ハイパフォーマンススポーツセンター全体で行えればというふうに思っております。ここ数年、感染症の関係でかなり小さい規模で行ってきたんですけども、今年度から少しずつですね、規模を拡大しまして、なるべくたくさんの方が参加できるようなイベントを催したいと、今企画しているところでございます。こちらの行事につきましては北区様、それから北区教育委員会様からですね、毎年後援をいただいております、今年もお願いする予定でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。以上でございます。

【谷塚委員】

お時間いただきありがとうございます。今年第2回ということで「THE NORTH TOKYO DERBY」、東洋大学男子バスケットボールと、東京成徳大学の男子バスケットボールの試合を7月21日に行うこととなりました。こちらは、東洋大学が赤羽地区、東京成徳大学が王子地区ということで、これ単純な練習試合ですけど、

これをですね、赤羽のお祭りにしよう、北区のお祭りにしようと思ひまして、王子対赤羽というしつらえで、昨年度からやらさせていただきました。うちのアリーナに1700人が座れるんですが、昨年は申し込みの時点で1700人の申し込みが埋まりまして、これ無料なので当日キャンセル等あったんですけど、それでも昨年は1300人ぐらい来客がありました。内訳でいうと学生が300人ぐらいで、1000人以上が地域の方々でした。うちの大学の学生と地域の方々が来ていただいたということになります。今年もあと10日後なんですけど、改めて皆様にご紹介させていただきます。現状申し上げますと、もうすでに1600人を超えてるのかなと。もうあと100席弱ではあるんですが、小さく見積もって1700で、実際2000ぐらいまで入る予定です。もし今からでもご興味ある方はチラシ右下の申し込みの方で申し込みますので、ぜひ、7月21日、お越しいただければと思います。例えばこのチラシも全部学生が作りました。これ一切お金かかってないです。こういうのも全部学生が作って、企画運営等も含めてゼミ含めた学生が行っておりますので、ぜひお越しいただければと思います。あと、今年はこの試合で1000人を超える方々がこの赤羽に集まっていたくので、終わった後にですね、赤羽の駅前の飲み屋さんを人に流したいなと思ひまして、プログラムを持って行っていただければ、何かサービスをしていただけるといふ店舗さんが約26店舗、ご協力いただけることになってまして、実際にどれだけ行っていただけるか、ちょっとわからないんですが、せっかくスポーツで集めた人をですね、地域でお金を落とさせていただこうと、というような取り組みも今年やっております。そこに関しては学生がですね、ご挨拶に行つてご協力いただいたりとかですね、今後もスポーツで人を集めて、北区にお金を落としたいなというふうに考えておりますので、ぜひ皆さん、来ていただければと思います。ご協力ご協賛いただいた企業もすべて北区で、オール北区でやっておりますので、ぜひ皆さんも21日にお越しいただければと思います。どうもありがとうございます。

【齊藤座長】

まさしくスポーツ振興・地域振興をやっております。

【田草川委員】

北区体育協会です。貴重なお時間いただきありがとうございます。
まず、4月以降、今年度はですね、コロナ前に戻つて十分な活動が各連盟できているという報告を受けています。1つ東京都の体育大会、都民大会っていうのがあるんですが、5月にですね、柔道会が昭和35年以来に東京都で優勝したという、そういう話が入りましたことを1つご報告させていただきます。

もう1つはですね、これはお願いでございますが、サッカー協会の方で今年度から女子の生徒、児童を対象とした、女子のサッカー教室というのをやっております。実際にはですね、女子生徒・児童サッカークリニックというそういう名前で、北区ニュース等でPRしているところです。今現在2回ありまして、来てる方々が、主にやはりもうすでにサッカーに親しんでいる方が多いということで、できれば初心者、裾野を広げる意味で、そういった方々にお願いしたいということでございます。今日PTAの方々、学校の先生方もいらしておりますので、ぜひその辺のところ、女子のですね、小学校5、6年生、そして中学生対象ですので、これをお願いできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

【齊藤座長】

ありがとうございました。

ではですね、次は6番のその他にまいりたいと思います。事務局の方向かありますでしょうか。

【事務局】

その他につきまして、24ページお開きいただけますでしょうか。

私ども、今年度から北区のスポーツ推進計画改定の作業に入り、8月なんですけれども検討委員会が開催される予定でございます。その件に関しまして、スケジュールとか、簡単に情報提供させていただきます。

24ページの方ご説明させていただきます。件名としては「東京都北区スポーツ推進計画の改定について」です。

1の要旨でございます。令和2年3月に策定された東京都北区スポーツ推進計画ですが、令和2年度から11年度までの、10か年の計画ということで策定をされております。社会情勢や進捗状況によりまして、5年を目途に必要な応じて計画を見直すこととしておりました。令和4年3月にはですね、国の第3期スポーツ基本計画が策定されるなど、スポーツを取り巻く環境の変化に対応しながら、これまでの取り組みを基本にしつつ、さらなるスポーツ実施率の向上、障害者スポーツの充実及び区が目指すスポーツの力を通じたシティプロモーションをはじめとした他施策とも連携したですね、特色あるスポーツ施策の展開を行う必要があるため、推進計画の検討委員会及び庁内横断的事項を検討する庁内連絡会議を設置いたしまして、改定に着手をいたします。

2の委員の構成でございます。25ページをご覧ください。構成としましては、学識経験者、団体構成員、公募区民、区職員で構成されております。

お戻りいただいて24ページ、3今後の予定でございます。6月12日です。既

に区民生活委員会でご報告をさせていただいております。また、6月18日ですが庁内連絡会第1回を開催しております。続いて検討委員会の第1回を8月1日に裏面の構成員のメンバーで開催をする予定でございます。それで8月中にですね、このスポーツ推進計画を改定する際に区民アンケートを実施いたします。8月中旬ぐらいに区民4,000人に対しアンケートの方を送付させていただきます。またアンケートについてはインターネットでも回答できるような形にさせていただいております。また令和7年度中にですね、2回、検討委員会を開催する予定でございます。6年度3回、7年度2回ということで全部で5回開催する予定でございます。7年度の中でですね、中間のまとめ、またパブリックコメントを実施いたしまして、令和7年度中には推進計画が改定される予定でございます。

続きまして、26ページ以降でございます。簡単に現行計画「北区スポーツ推進計画(令和2年3月策定)」、「国第3期スポーツ基本計画(令和4年3月策定)」、「東京都スポーツ推進総合計画(平成30年3月策定)」、それぞれの概要につきましてA3の資料横版にてご説明させていただきます。

まず26ページ、右上にですね、取扱注意という表示がございます。これはですね、この資料A3の方はですね、8月1日の検討委員会に出す資料用に作ってございますが、先にこちらの協議会の方で出させていただいております。8月1日までは取扱注意をお願いしたいという意味の取扱注意でございます。では26ページ、北区のスポーツ推進計画を簡単にご説明させていただきます。

「北区スポーツ推進計画」でございます。北区の計画が5章で構成されております。アラビア数字になりますけれども、Ⅰの計画の位置付け、同じくⅡ現状から見た今後の課題の方を記述しております。そしてⅢの方でございます。北区が目指すべき姿として基本理念「スポーツで創る地域のきずなスポーツを楽しめるまち北区」としてしております。これを実現するためにですね、Ⅴのところに3つの視点をお示ししております。3つの視点の方から、基本目標、取り組み内容の方向性及び重点施策を定めてございます。これらの施策を推進する結果として、右上のですねⅣの数値目標というところでございます。こちらですね、前回改定した現行計画の中でスポーツ実施率、5年後は55%、10年後は65%を目指すとしていただきました。ただ平成30年度に行いました区のこのスポーツのアンケートではですね、43.4%というスポーツの実施率という結果でございました。その後ですね、コロナなども発生しており、今回8月にアンケートを取りますが、結果として目標の達成ができるかというところは不透明だということで現状考えてございます。新しい計画ではですね、スポーツの実施率のさらなる向上を目指したですね、数値を設定したいと考えてございます。

次に27ページをご覧ください。「国第3期スポーツ基本計画」でございます。

こちらは令和4年の3月に策定されております。こちらもアラビア数字になってございます。Ⅰの策定趣旨です。スポーツ立国を目指す上での5年間の重要指針になります。重要指針は、スポーツの有する価値などをさらに高め施策に取り組み、多様性や可能性を含めまして、スポーツレガシーの承継・発展に取り組むべき施策として位置付けてございます。Ⅱのところ、新たな視点ということで3つ掲げてございます。キーワードといたしまして、つくる、はぐくむ、あつまり、ともに、つながり、誰もがアクセスする、を新たな視点としております。次にⅢ、今後5年間に総合的計画的に取り組む施策としてですね、先ほど申し上げた趣旨とか新たな視点、3つの視点ですね、こちらの方からとらえまして、1から12まで定めているところでございます。まずは施策です。1の多様な主体におけるスポーツの機会創出、以下2のDXの推進から12のスポーツ・インテグリティの確保までです。成果指標なども一部に設けてございます。計画的な推進に必要な事項を掲げまして、成果指標なども設けまして、推進を掲げているというところでございます。成果指標は右端の方に書いてございます。

最後に28ページをご覧ください。「東京都スポーツ推進総合計画」でございます。平成30年3月に策定されました現行計画です。Ⅰの策定の背景・位置付け、この中で2つ目の点の中身でございますが、東京都スポーツ推進計画とですね、東京都障害者スポーツ振興計画を統合して1つの計画としたことは、この30年の3月策定計画の変更の大きな部分でございます。Ⅱの基本理念のところでございますが、スポーツの力で東京の未来を作る、というところで定めてございます。点のところに書いてありますが、都民のスポーツ実施率目標を70%に定めているところでございます。Ⅲの主な内容でございますが、政策目標1としましては、スポーツを通じた健康長寿の達成、2としましてはスポーツを通じた共生社会の実現、3としましてはスポーツを通じた地域・経済の活性化、ということでございます。右側Ⅳをご覧ください。「目標達成に向けた施策展開」といたしまして、それぞれⅢの1から3の政策目標に対して、それぞれの達成目標、政策指針を掲げ展開を図っていくということで、計画の方で定めてございます。雑駁ですが、私からの説明は以上となります。

【齊藤座長】

ありがとうございました。質問等ございますでしょうか。

【玉瀬オブザーバー】

コミスポたきのがわの玉瀬と申します。よろしく申し上げます。実は、令和2年3月策定の北区スポーツ推進計画の際に、一般公募で委員として関わらせていただきました。この数値目標を定めるにあたってですね、かなりチャレンジング

な数字だということは、委員の皆さん重々承知でした。ただ、国も東京都も将来的に70%と言っているところで、北区は現実を見て数値目標を決定し、チャレンジをしようっていう数字を定めました。なので、現状ここに達していないということは、皆さん生活をする中でわかっていると思います。ただ、70%を国も東京都も目指すと言っております。これはですね、スポーツ界だけじゃなくて、ライフスタイルそのものが変わらないと達成できない数値です。それはもう、国も都も承知の上だと思います。そこをみんなでぜひ目指して、スポーツがまちにあふれるような日本になるといいなと思ってますので、今度の8月から始まる、新しい委員の方々に期待しております。よろしくお願いします。

【越野委員】

ご説明ありがとうございました。まず1つ最初に質問してからにしたいと思いますが、北区スポーツ推進計画というのは何のために作る計画なんですか。

【事務局】

申し上げますと、スポーツ基本法というのがありまして、その中で自治体の方で計画を定めて実施をしていくというところを、定めておりますので、それに基づいた自治体レベルの計画っていうのが根拠でございます。

【越野委員】

ありがとうございます。ですから多分、今の位置付けとすると、その北区のスポーツ推進課のこれからの行動指針とかっていう、形になるという理解でよろしいのかなと思うんですが、そのときに、今のあれですと、国と東京都の、縦割りをそのまま北区に持ってきちゃうような話になるんだろうと思うんですよ。だから、例えば現状から見た今後の課題っていうところに、令和2年の段階で、情報発信の充実っていうふうに書いてあるんですけども、施策の方に入っていくと、情報発信をどうやって充実するのかっていうのはまるで書いてないんですよ。さっき冒頭ご挨拶で申し上げましたけれども、本当に素晴らしいポテンシャルというか、スポーツに関して、そういうものを持ってる地域だというのは、実は北区全体の施策の中でのシティブランディングということも、ものすごく大切な要素になるわけですよ。だから北区としては、そこの一翼を担うんだと、スポーツ推進課は、そういう考え方を盛り込んでもらわないと、北区としての北区のスポーツ推進課としての行動指針には、僕はならないと思います。だから、まさに課長のお答えがそうなんですけれども、こういう法律に基づいてこういうふうやって自治体としてはこう決めていかなきゃいけないから、これはもう一方で、当然必要なことだと思います。ただ、それに留まってる。多分、い

つまでたってもこれがベースになっちゃうんで、いろいろここで言い続けてきてるようなことがですね、なかなか達成できないんじゃないかなというふうに思いますので、ぜひですね、これ委員に任命されてるわけでもありませんし、もう最終的には委員の皆様にお任せをするわけですから、ぜひですね、何をやらなければいけないんだという視点をですね、ぜひ入れていただきたいと思いますし、つまり、この中で、令和2年のところで言うと、例えば1つの例として、地域のスポーツ団体の育成支援充実とかっていうところがあるとしたら、それぞれの団体が何か発信力が弱ければ、そういうところを、フォローできるようなプラットフォームの発信媒体を作っていくとかね、そういうことも当然スポーツ推進課としての使命になるはずなんですよ。だけどそういうことを、国も都もやれって言ってないからそのままになってしまうってのは、極めて残念だと思いますので、今度の令和6年の改定にあたってはですね、ぜひその辺をご留意いただきたいなというふうに感じました。よろしくお願いします。

【事務局】

すみません。ちょっと事務局から、こちらの計画なんですけれどもスポーツ推進課の行動計画という北区全体ですね、スポーツの発展のための推進計画という位置付けでございますので、そこはご理解いただきたいと思います。位置付けとしましてはですね、また固いこと言って申し訳ないんですけど、北区の基本構想や基本計画など、関連計画ですと、区の中の様々なスポーツに関する計画と連携しながらですね、こちらの計画、すべての世代のスポーツ推進のための区としての行動計画という位置付けになっております。委員がおっしゃられたように、情報発信の部分などですね。あとは例えば、庁内連携を含む記載としては現状も多少はあるんですけれども、なかなか判然としないところもございます。委員がおっしゃる通り、今回ご説明したのは現行計画でございます。今、都の審議会の方で審議している、今年度、令和7年の3月なんですけれども新しいスポーツ推進計画、総合計画が出る予定なんですけれども、そちらの方でも現状の社会情勢や新しいものを取り込んだですね、あとはアーバンスポーツ、あとは見るスポーツとかですね、あと地域活性化など、かなり含まれた議論がされております。そこは区としても外せない部分でございますので、そのような都の最新の動向などもですね、委員会の方で適宜、私どもでしっかり情報提供しながらですね、区のほうで意気込みが示せるような計画を、今日いただいた声をしっかり受けとめながら、事務局として調査の資料とかも含めて、ご提示させていただければと思います。あとは、検討委員会の方で決めていただく形になりますので、どうぞよろしくお願いします。

【齊藤座長】

私、この検討委員会に僭越ながら名前が入っております。実は私、計画策定の専門家でして、こういった法律に基づいて作る計画っていうのは、どうしても国、都道府県、市町村等で、何かどこ見ても、何か市町村の名前だけが変わってる計画が多いんですが、それじゃ駄目なんです。こういう計画を作るのに、おそらく、ここの委員さんの日当とか、おそらくコンサルも、多分、数百万かかると思うんです。それで名前だけが変わった計画を作ると、税金の無駄です。ですので、そういう意味では今、越野委員さんのお話ありましたけど、やはり北区独自のいろんなアクションプラン、当然、スポーツ推進のアクションプランは必要ですし、あとはここにいらっしゃる皆さんも含めたアクションプラン、みたいなものをきちっと作って、あと作りっ放しは駄目です。大体はこの検討委員会を開催してですね、策定するともう、あとは野となれ山となれで、10年後にまた作んなきゃいけないよということで、また前の計画を引っ張り出してという、こういう馬鹿なことを繰り返すことになりますんで、私もこの委員会でも言いたいと思うんですが、作った後はちゃんと推進する委員会、評価する委員会、一番重要なのはプロセス評価ですから、これをやっていただきたいなというふうに感じます。

それと、私この名前に連ねていただきながら、今回の計画策定は非常に荷が重いです。なぜかという、皆さんご存じかどうかわかりませんが、中学校の部活が地域に移行されます。今まで学校の先生方のボランティアによって、ほとんどボランティアみたいなんです。それによって、継続できていた部活が、地域に丸投げされます。皆さん、ボランティアでやりますか。ですので、中学校の部活を維持するためのきちとしたキャビネットを作っていないと、スポーツ振興は今まで学校、スポーツ、学校体育に頼っていた部分がありますので、これが崩壊します。70%は無理なんです。ですので、ここをやっぱりよく考えて、この計画作らないと。そういう意味で私は頭が痛いなと考えておりますが、ぜひ作った後もですね、作る場所もそうですけれども、今日ご参加の皆さんにもご協力いただきたいなというふうに感じております。よろしくどうぞ。

【桂委員】

中学校PTAの桂でございます。ちょっと気になったのは、数値目標が全部18歳以上になってるんですけど、これって子どもの数値目標を設けない意味ってあるんですか、というのがまず1つ。ちょっと最近気になってるのは、北区の中学校、多分、都内、23区のスポーツでその能力的には、確か最下位、だったような気がするんですよ。だからそういうのがあって、数値目標もなく大人だけの目標を設けても成長していかないんじゃないかなと。今言われた部活動も、まさにそのとおりで。今後どうしていくのかなというところは、正直PTAとし

で見えていても、どうしたらいいんだみたいな感じに、みんななってるんですよ。その辺に関してはちょっとどういうふうに進めていくのかっていうところは、注意して見たいです。

【事務局】

事務局です。18歳以上が実施率の対象となっている根拠とかは調べ切れてないんですけど、国の方が20歳以上、都の方18歳以上ということで、そこに準じてどの自治体も18歳か20歳ということで設定をしているのではないかと考えております。そこで一律の基準があることにより、国や他自治体との比較をして、そこで挙げた課題に取り組んでいける等のメリットがあるのではないかと考えております。お子さんの方はですね、実は第1回の検討会の委員の資料の方でもお出しする予定なんですけど、別途、東京都の教育委員会のホームページの方に、東京都の小中高生のスポーツの体力測定の結果等が公表されておまして、そちらの方も、このスポーツ推進計画の方でご提示をさせていただく予定でございます。結構細かい資料で、身長体重、握力、上体起こし、長座体前屈とか、東京都の児童生徒体力テスト調査結果というものが毎年出ていますので、それをグラフ等にして、委員の皆様にお示ししまして、このスポーツ推進計画の中身の方には、子どものスポーツの体力テストの調査結果を踏まえて、どのように子どもの体力を伸ばすかっていうところは定めております。

そういうことで全く検討しないということではなくて、きちっと検討委員会の中で子どもの部分は検討をしていく予定でございます。ちなみに令和5年度の東京都の児童体力測定結果では、北区の方を見ているんですが、北区は都の平均を上回る、種別によるテスト結果で上回っている部分が多いという結果が出ているというところでございます。後程メールで、東京都の調査結果の掲載ページ等をご案内できるかと思いますので、事務局の方で、委員の皆様ぜひ見ていただきたいと思いますので、お送りさせていただきたいと思います。以上です。

【齊藤座長】

よろしいですか。ありがとうございます。では全体通じた中で何かございますか。

【事務局】

最後に事務局から補足をさせていただきたいと思います。委員の皆様の任期につきまして、補足をさせていただきます。任期ですが、現行パリオリパラ終了後ですね、令和7年3月31日までの任期になっております。ただしですね、2025年、来年ですが世界陸上また東京2025デフリンピック大会が開催されます。本協議会を活用してですね、気運醸成のイベントなど、検討する必要があります。

あると思っております。事務局といたしましては、任期延長の方向で考えております。この件に関しましては、座長と事務局で協議をさせていただきまして、方向性を決定させていただきたいと思っております。よろしければ、この方法で進めさせていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

皆さんよろしいでしょうか。はい。

それでは、もう時間を過ぎておりますので、以上をもちまして第4回トップアスリートのまち北区推進協議会を終了いたします。皆さんありがとうございました。